

第11期

昭和38年5月2日～昭和42年5月1日 [昭38.4.30選挙執行] 定数56名

この期の 主な出来事

- * ケネディ米大統領暗殺 (昭38.11)、東海道新幹線開通 (昭39.10)、東京オリンピック開催 (昭39.10)
- * 市民憲章制定 (昭38.11)、第11回冬季オリンピックの札幌大会開催が決定 (昭41.4)、手稲町と合併 (昭42.3)

前代未聞の警官隊導入

昭和41年7月第2回定例会で、交通および下水道料金改定案件をめぐって紛糾し会期を2度にわたり延長しましたが、ついに深夜議会となりました。与党議員と理事者のみ警官隊に守られて議場に出席しました。



札幌駅北口開設〈当時の北口駅前〉
(昭38.12)

北方面の著しい発展に伴い、北口開設といっしょに清新な広場が出来、さらに南側へ地下連絡通路が出来ました。



第一勤労青少年ホーム
完成〈南4東4〉(昭39.6)
元遠友夜学校跡で、現在はレッツ中央と呼ばれています。



豊平橋新橋改築完成 (昭41.10)
完成した橋は23代目になり、総工費は3億6千万円で、橋脚に鉄筋コンクリートを使用した道内初の橋です。



第11期市議会議員

第12期

昭和42年5月2日～昭和46年5月1日 [昭42.4.28選挙執行] 定数60名

この期の 主な出来事

- * 東名高速道路開通 (昭44.5)、アポロ11号月面着陸成功 (昭44.7)、日本万国博覧会大阪で開催 (昭45.3)
- * 人口100万人突破 (昭45.11)、大倉山ジャンプ競技場完成 (昭45.11)

本会議の出席確認

本会議の出席は昭和42年まで出席票の方法で確認されていました。議員が出席すると、あらかじめ議席に配布されているこの票に議員が捺印、それを議長が再度確認して認印を押しました。現在は事務局職員が確認しています。



出席票

分科会

分科会は、事件を事項別に数科に分けて審査または調査するために設置されるものです。昭和44年の経済委員会で、中央卸売市場問題担当、地下街問題担当、卸・小売業問題担当の3分科会を設置しました。



第12期市議会議員

定山溪鉄道の電車事業
廃止 (昭44.10)
大正7年に開業し、豊平駅から定山溪駅まで沿線住民や温泉への行楽客を運び続けました。



道庁新庁舎完成 (昭43.2)
開道100年にあわせて建てられ、ホレンガ庁舎(日本庁舎)も復元・保存されることになりました。



市創建100年記念 (昭43.8)
市民会館での記念式典、大ハレードの行進や花電車の運行など多彩な行事が繰り広げられました。

